

もしものときに、備えよう！

地震対策

今年に入り、日本各地で地震が頻発しています。いつどこで起こるか分からない地震に備え、いざというときの行動や、日頃からの安全対策などを今一度確認しておきましょう。

問い合わせ先 危機管理課 (☎43-7211)

緊急地震速報（警報）はこんなときに発表します

発表条件	最大震度5弱以上	または	最大長周期地震動階級3以上と予想された場合
対象地域	震度4以上	または	長周期地震動階級3以上が予想される地域



緊急地震速報を見聞きしたら…
地震の揺れを感じたら…

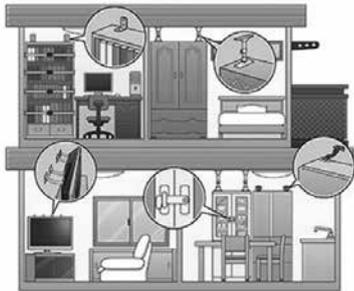
周囲の状況に応じて慌てず、まず身の安全を！

外にいるとき ▷ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる ▷看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる 	家の中にいるとき ▷頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる ▷慌てて外に飛び出さない ▷火を使っている場合、その場で火を消せるときは火を消す、火元から離れているときは無理に火を消しに行かない 
山やがけ付近にいるとき ▷落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる	鉄道・バスに乗っているとき ▷吊り革や手すりにしっかりつかまる
人が大勢いる施設にいるとき ▷慌てずに施設の係員や従業員などの指示に従う ▷従業員などから指示がない場合は、その場で頭を保護し、揺れに備えて安全な姿勢をとる ▷吊り下がっている照明などの下から退避する ▷慌てて出口や階段に殺到しない	車を運転しているとき ▷慌てて急ハンドルや急ブレーキをかけず、緩やかにスピードを落とす ▷ハザードランプを点灯してまわりの車に注意を促す 

すぐにできる家の中の安全対策は？

強い揺れがあったときには、家具やテレビなどが転倒したり、棚などから物が落下したり、窓ガラスや食器棚のガラスなどが割れたりして、大変危険です。

- タンスや棚はL型金具などで壁の棧や柱に固定しましょう。
- 引き出しや観音開きの扉にはストッパーなどを取り付け、中身が飛び出さないようにしておきましょう。
- テレビやパソコンは、金具や耐震シートなどで本体と台を固定し、L型金具などで棧や柱に固定しておきましょう。
- 寝室や子ども・高齢者の部屋、出入口付近にはできるだけ背の高い家具は置かないようにしましょう。
- 寝る場所は、家具から離れた家具が転倒しにくい場所にしましょう。
- 重い置物、家電などは、できるだけ低い位置に置くようにしましょう。



備蓄品を用意しましょう

災害時の物資不足やライフラインの停止などの事態に備え、家庭に食料や生活必需品を用意しましょう。

◎地震防災対策の現状調査に係る住民向けアンケートを実施します

内閣府では、今後の防災対策に向けて、皆さんの声を反映させるため避難意識などに関する調査を実施します。

実施期間 7月～8月頃を予定

注意事項 ▷回答は1人1回限りです。
▷回答の途中で、回答状況を一時保存することはできません。

▷選択式の設問は該当する選択肢をチェックし、記述式の設問は可能な限り具体的に回答してください。

▷回答内容は、個人が特定できないようとりまとめた後、今後の防災対策の検討に活用します。

問い合わせ先 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官付 大竹、吉田
(☎03-3501-6996)



回答はコチラから